久喜けいわ拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**274,934,781**	**260,394,181**	**14,540,600**	**流動負債**	**58,405,449**	**59,691,638**	**△1,286,189**
現金預金	164,873,722	151,245,538	13,628,184	事業未払金	20,407,712	18,968,461	1,439,251
事業未収金	75,066,087	77,178,534	△2,112,447	１年以内返済予定設備資金借入金	1,310,000	1,310,000	
未収補助金	15,600		15,600	預り金	20,817	2,982,767	△2,961,950
商品・製品	376,883	191,075	185,808	職員預り金	6,383,755	6,137,357	246,398
仕掛品	1,307,810	1,347,845	△40,035	賞与引当金	30,283,165	30,293,053	△9,888
原材料	300,570	57,540	243,030				
立替金	32,994,109	30,373,649	2,620,460				
固定資産	**957,327,609**	**916,835,637**	**40,491,972**	**固定負債**	**66,481,320**	**63,026,120**	**3,455,200**
基本財産	**615,214,703**	**637,231,416**	**△22,016,713**	設備資金借入金	5,240,000	6,550,000	△1,310,000
土地	72,519,000	72,519,000		退職給付引当金	61,241,320	56,476,120	4,765,200
建物	542,695,703	564,712,416	△22,016,713	**負債の部合計**	**124,886,769**	**122,717,758**	**2,169,011**
その他の固定資産	**342,112,906**	**279,604,221**	**62,508,685**	純　資　産　の　部			
建物	386,417	414,454	△28,037	**基本金**	**237,421,702**	**237,421,702**	
構築物	16,239,423	17,637,570	△1,398,147	基本金	237,421,702	237,421,702	
機械及び装置	407,924	596,316	△188,392	**国庫補助金等特別積立金**	**198,954,833**	**207,967,713**	**△9,012,880**
車輌運搬具	6	7	△1	国庫補助金等特別積立金	198,954,833	207,967,713	△9,012,880
器具及び備品	4,324,702	4,966,640	△641,938	**その他の積立金**	**259,500,000**	**199,500,000**	**60,000,000**
権利	13,110	13,110		人件費積立金	10,000,000	10,000,000	
ソフトウェア	4	4		修繕積立金	3,000,000	3,000,000	
退職給付引当資産	61,241,320	56,476,120	4,765,200	備品等購入積立金	15,000,000	15,000,000	
人件費積立資産	10,000,000	10,000,000		建設積立金	231,500,000	171,500,000	60,000,000
修繕積立資産	3,000,000	3,000,000		**次期繰越活動増減差額**	**411,499,086**	**409,622,645**	**1,876,441**
備品等購入積立資産	15,000,000	15,000,000		（うち当期活動増減差額）	61,876,441	55,799,756	6,076,685
建設積立資産	231,500,000	171,500,000	60,000,000				
				純資産の部合計	**1,107,375,621**	**1,054,512,060**	**52,863,561**
資産の部合計	**1,232,262,390**	**1,177,229,818**	**55,032,572**	**負債及び純資産の部合計**	**1,232,262,390**	**1,177,229,818**	**55,032,572**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(久喜けいわ拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
(2) 固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法
・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理によっている。
(3) 引当金の計上基準
・退職給付引当金－・・・
・賞与引当金　　－・・・

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職給付制度は社会福祉施設職員退職手当共済法、社団法人埼玉県社会福祉事業共助会施行規則に基づくものによる。

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)久喜けいわ計算書類
（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
ｱ 施設入所支援
ｲ 生活介護
ｳ 短期入所
ｴ 日中一時支援
ｵ 就労移行支援
ｶ 就労継続支援B型
ｷ 生計困難者に対する相談支援事業
(3)拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
ｱ 施設入所支援
ｲ 生活介護
ｳ 短期入所
ｴ 日中一時支援
ｵ 就労移行支援
ｶ 就労継続支援B型
ｷ 生計困難者に対する相談支援事業

５．基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基)土地	72,519,000			72,519,000
(基)建物	564,712,416		22,016,713	542,695,703
合　　計	637,231,416	0	22,016,713	615,214,703

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地･建物(六万部1445-1他)	21,998,970 円
計	21,998,970 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(一年以内返済予定額を含む)	6,550,000 円
計	6,550,000 円

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(基)土地	72,519,000		72,519,000
(基)建物	1,047,758,697	505,062,994	542,695,703
建物	475,200	88,783	386,417
構築物	43,299,030	27,059,607	16,239,423
機械及び装置	12,594,125	12,186,201	407,924
車輌運搬具	12,704,673	12,704,667	6
器具及び備品	43,854,285	39,529,583	4,324,702
合　　計	1,233,205,010	596,631,835	636,573,175

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	75,066,087		75,066,087
未収補助金	15,600		15,600
立替金	32,994,109		32,994,109
合　　計	108,075,796	0	108,075,796

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

いちょうの木拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**43,781,021**	**42,277,230**	**1,503,791**	**流動負債**	**4,911,502**	**4,934,892**	**△23,390**
現金預金	24,103,627	21,327,055	2,776,572	事業未払金	4,911,502	4,934,892	△23,390
事業未収金	19,603,091	20,852,979	△1,249,888				
未収補助金	13,680	28,926	△15,246				
立替金	2,283		2,283				
前払金	58,340	68,270	△9,930				
固定資産	**252,357**	**377,500**	**△125,143**	**固定負債**			
基本財産				**負債の部合計**	**4,911,502**	**4,934,892**	**△23,390**
その他の固定資産	**252,357**	**377,500**	**△125,143**	純　資　産　の　部			
器具及び備品	252,357	377,500	△125,143	**基本金**			
				国庫補助金等特別積立金			
				その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	**39,121,876**	**37,719,838**	**1,402,038**
				（うち当期活動増減差額）	1,402,038	2,284,545	△882,507
				純資産の部合計	**39,121,876**	**37,719,838**	**1,402,038**
資産の部合計	**44,033,378**	**42,654,730**	**1,378,648**	**負債及び純資産の部合計**	**44,033,378**	**42,654,730**	**1,378,648**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(いちょうの木拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職手当共済法、社会福祉事業共助会施行規則に基づく

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1) いちょうの木計算書類
(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
ア 生活介護
(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
ア 生活介護

５．基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具及び備品	737,876	485,518	252,358
合　　計	737,876	485,518	252,358

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	19,603,091		19,603,091
未収補助金	13,680		13,680
立替金	2,283		2,283
合　　計	19,619,054	0	19,619,054

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

グループホーム清久拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**32,519,970**	**28,894,912**	**3,625,058**	**流動負債**	**7,242,429**	**6,909,451**	**332,978**
現金預金	13,455,005	10,811,025	2,643,980	事業未払金	4,767,429	4,500,451	266,978
事業未収金	16,512,916	16,375,279	137,637	１年以内返済予定設備資金借入金	576,000	576,000	
立替金	1,074,015	422,358	651,657	前受金	1,899,000	1,833,000	66,000
前払金	1,478,034	1,286,250	191,784				
固定資産	**49,530,053**	**55,100,373**	**△5,570,320**	**固定負債**	**6,864,000**	**7,440,000**	**△576,000**
基本財産	**40,151,219**	**42,505,057**	**△2,353,838**	設備資金借入金	6,864,000	7,440,000	△576,000
土地	3,300,000	3,300,000		**負債の部合計**	**14,106,429**	**14,349,451**	**△243,022**
建物	36,851,219	39,205,057	△2,353,838	純資産の部			
その他の固定資産	**9,378,834**	**12,595,316**	**△3,216,482**	**基本金**			
建物	6,651,787	9,468,341	△2,816,554	**国庫補助金等特別積立金**	**16,685,579**	**18,396,435**	**△1,710,856**
構築物	1,546,096	1,573,596	△27,500	国庫補助金等特別積立金	16,685,579	18,396,435	△1,710,856
車輌運搬具	849,763	1,275,921	△426,158	**その他の積立金**			
器具及び備品	331,188	277,458	53,730	**次期繰越活動増減差額**	**51,258,015**	**51,249,399**	**8,616**
				（うち当期活動増減差額）	8,616	△150,878	159,494
				純資産の部合計	**67,943,594**	**69,645,834**	**△1,702,240**
資産の部合計	**82,050,023**	**83,995,285**	**△1,945,262**	**負債及び純資産の部合計**	**82,050,023**	**83,995,285**	**△1,945,262**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(ＧＨ清久拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
(2) 固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法
・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理によっている。

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職給付制度は社会福祉施設職員退職手当共済法､社団法人埼玉県社会福祉事業共助会施行細則に基づくものによる。

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ清久計算書類
（会計基準省令第1号第4様式､第2号第4様式､第3号第4様式）
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
ア　共同生活援助
イ　短期入所
(3)拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
ア　共同生活援助
イ　短期入所

５．基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基)土地	3,300,000			3,300,000
(基)建物	39,205,057		2,353,838	36,851,219
合　　計	42,505,057	0	2,353,838	40,151,219

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地(久喜市下早見字内谷1769-1)	3,300,000 円
建物（久喜市下早見字内谷1769-1）	43,912,733 円
計	47,212,733 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(一年以内返済予定額を含む)	7,440,000 円
計	7,440,000 円

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(基)土地	3,300,000		3,300,000
(基)建物	51,170,400	14,319,181	36,851,219
建物	22,996,200	16,344,413	6,651,787
構築物	2,913,990	1,367,894	1,546,096
車輌運搬具	1,275,921	426,158	849,763
器具及び備品	5,726,224	5,395,036	331,188
合　　計	87,382,735	37,852,682	49,530,053

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	16,512,916		16,512,916
立替金	1,074,015		1,074,015
合　　計	17,586,931	0	17,586,931

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

のぞみ園拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**8,422,272**	**7,432,677**	**989,595**	**流動負債**	**1,261,997**	**1,173,299**	**88,698**
現金預金	5,378,675	3,970,283	1,408,392	事業未払金	1,261,997	1,173,299	88,698
事業未収金	3,043,597	3,462,394	△418,797				
固定資産				**固定負債**			
基本財産				**負債の部合計**	**1,261,997**	**1,173,299**	**88,698**
その他の固定資産				純　資　産　の　部			
				基本金			
				国庫補助金等特別積立金			
				その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	**7,160,275**	**6,259,378**	**900,897**
				（うち当期活動増減差額）	900,897	840,082	60,815
				純資産の部合計	**7,160,275**	**6,259,378**	**900,897**
資産の部合計	**8,422,272**	**7,432,677**	**989,595**	**負債及び純資産の部合計**	**8,422,272**	**7,432,677**	**989,595**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(のぞみ園拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
(2) 固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法
・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理によっている。

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職手当共済法、社会福祉事業共助会施行規則に基づく

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)のぞみ園計算書類
（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
(3)拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))

５．基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

該当なし

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	3,043,597		3,043,597
合　　計	3,043,597	0	3,043,597

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

ゆうあい拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**12,792,845**	**11,354,307**	**1,438,538**	**流動負債**	**2,399,115**	**2,071,273**	**327,842**
現金預金	1,670,165	1,319,045	351,120	事業未払金	2,399,115	2,071,273	327,842
事業未収金	10,840,920	9,756,132	1,084,788				
立替金	204,480	212,160	△7,680				
前払金	77,280	66,970	10,310				
固定資産	**218,133**	**43,541**	**174,592**	**固定負債**			
基本財産				**負債の部合計**	**2,399,115**	**2,071,273**	**327,842**
その他の固定資産	**218,133**	**43,541**	**174,592**	純　資　産　の　部			
器具及び備品	218,133	43,541	174,592	**基本金**			
				国庫補助金等特別積立金			
				その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	**10,611,863**	**9,326,575**	**1,285,288**
				（うち当期活動増減差額）	1,285,288	760,897	524,391
				純資産の部合計	**10,611,863**	**9,326,575**	**1,285,288**
資産の部合計	**13,010,978**	**11,397,848**	**1,613,130**	**負債及び純資産の部合計**	**13,010,978**	**11,397,848**	**1,613,130**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(ゆうあい拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
(2) 固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法
・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理によっている。

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職手当共済法、社会福祉事業共助会施行規則に基づく

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)ゆうあい計算書類
（会計基準省令第1号第4様式､第2号第4様式､第3号第4様式)
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
ｱ 生活介護
(3)拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
ｱ 生活介護

５．基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具及び備品	429,500	211,367	218,133
合　　計	429,500	211,367	218,133

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	10,840,920		10,840,920
立替金	204,480		204,480
合　　計	11,045,400	0	11,045,400

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

あゆみの郷拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**17,455,494**	**17,580,477**	**△124,983**	**流動負債**	**2,756,477**	**3,211,055**	**△454,578**
現金預金	8,075,140	4,286,457	3,788,683	事業未払金	2,650,224	3,097,933	△447,709
事業未収金	9,324,114	10,427,430	△1,103,316	預り金	106,253	113,122	△6,869
未収補助金	4,880		4,880				
立替金		2,822,000	△2,822,000				
前払金	51,360	44,590	6,770				
固定資産				**固定負債**			
基本財産				**負債の部合計**	**2,756,477**	**3,211,055**	**△454,578**
その他の固定資産				純　資　産　の　部			
				基本金			
				国庫補助金等特別積立金			
				その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	**14,699,017**	**14,369,422**	**329,595**
				（うち当期活動増減差額）	329,595	1,752,112	△1,422,517
				純資産の部合計	**14,699,017**	**14,369,422**	**329,595**
資産の部合計	**17,455,494**	**17,580,477**	**△124,983**	**負債及び純資産の部合計**	**17,455,494**	**17,580,477**	**△124,983**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(あゆみの郷拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法－定額法
・器具及び備品－定額法

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職手当共済法、社会福祉事業共助会施行規則に基づく

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)あゆみの郷計算書類
(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
ア 生活介護
イ 就労継続支援B型
(3)拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
ア 生活介護
イ 就労継続支援B型

５．基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

該当なし

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	9,324,114		9,324,114
未収補助金	4,880		4,880
合　　計	9,328,994	0	9,328,994

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

支援センター拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**37,612,806**	**34,788,260**	**2,824,546**	**流動負債**	**37,403,162**	**34,760,622**	**2,642,540**
現金預金	5,515,649	3,937,534	1,578,115	事業未払金	4,627,107	5,170,360	△543,253
事業未収金	703,415	894,477	△191,062	預り金	32,776,055	29,590,262	3,185,793
未収補助金	30,721,579	29,148,254	1,573,325				
立替金	672,163	807,995	△135,832				
固定資産	**1**	**1**		**固定負債**			
基本財産				**負債の部合計**	**37,403,162**	**34,760,622**	**2,642,540**
その他の固定資産	**1**	**1**		純　資　産　の　部			
器具及び備品	1	1		**基本金**			
				国庫補助金等特別積立金			
				その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	**209,645**	**27,639**	**182,006**
				（うち当期活動増減差額）	182,006	27,637	154,369
				純資産の部合計	**209,645**	**27,639**	**182,006**
資産の部合計	**37,612,807**	**34,788,261**	**2,824,546**	**負債及び純資産の部合計**	**37,612,807**	**34,788,261**	**2,824,546**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(支援センター拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職手当共済法、社会福祉事業共助会施行規則に基づく

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)支援ｾﾝﾀｰ計算書類
(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
ｱ 相談支援
ｲ 療育等支援
ｳ 久喜市就労支援
ｴ 就業･定着支援
ｵ巡回支援
ｶ基幹相談支援

５．基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具及び備品	478,425	478,424	1
合　　計	478,425	478,424	1

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	703,415		703,415
未収補助金	30,721,579		30,721,579
立替金	672,163		672,163
合　　計	32,097,157	0	32,097,157

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

障害者生活支援センターきよく拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

令和4年3月31日現在

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**1,513,779**	**1,367,003**	**146,776**	**流動負債**	**120,294**	**114,529**	**5,765**
現金預金	246,731	175,069	71,662	事業未払金	120,294	114,529	5,765
事業未収金	1,267,048	1,191,934	75,114				
固定資産				**固定負債**			
基本財産				**負債の部合計**	**120,294**	**114,529**	**5,765**
その他の固定資産				純　資　産　の　部			
				基本金			
				国庫補助金等特別積立金			
				その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	**1,393,485**	**1,252,474**	**141,011**
				（うち当期活動増減差額）	141,011	115,816	25,195
				純資産の部合計	**1,393,485**	**1,252,474**	**141,011**
資産の部合計	**1,513,779**	**1,367,003**	**146,776**	**負債及び純資産の部合計**	**1,513,779**	**1,367,003**	**146,776**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(きよく拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

該当なし

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職手当共済法、社会福祉事業共助会施行規則に基づく

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)障害者生活支援ｾﾝﾀｰきよく計算書類
（会計基準省令第1号第4様式､第2号第4様式､第3号第4様式）
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
(3)拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))

５．基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

該当なし

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	1,267,048		1,267,048
合　　計	1,267,048	0	1,267,048

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

ワークハウス・コムラード拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

令和4年3月31日現在

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**7,696,224**	**6,397,421**	**1,298,803**	**流動負債**	**1,352,256**	**1,207,658**	**144,598**
現金預金	2,641,791	1,509,701	1,132,090	事業未払金	1,352,256	1,207,658	144,598
事業未収金	5,054,433	4,800,656	253,777				
前払金		87,064	△87,064				
固定資産	**46,228,628**	**48,463,062**	**△2,234,434**	**固定負債**	**10,800,000**	**16,800,000**	**△6,000,000**
基本財産	**46,228,628**	**48,463,062**	**△2,234,434**	拠点区分間長期借入金	10,800,000	16,800,000	△6,000,000
土地	4,200,000	4,200,000		**負債の部合計**	**12,152,256**	**18,007,658**	**△5,855,402**
建物	42,028,628	44,263,062	△2,234,434	純　資　産　の　部			
その他の固定資産				**基本金**			
				国庫補助金等特別積立金			
				その他の積立金			
				次期繰越活動増減差額	**41,772,596**	**36,852,825**	**4,919,771**
				（うち当期活動増減差額）	4,919,771	△1,038,469	5,958,240
				純資産の部合計	**41,772,596**	**36,852,825**	**4,919,771**
資産の部合計	**53,924,852**	**54,860,483**	**△935,631**	**負債及び純資産の部合計**	**53,924,852**	**54,860,483**	**△935,631**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(コムラード拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

退職手当共済法、社会福祉事業共助会施行規則に基づく

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1) ワークハウス・コムラード計算書類
(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
ア 就労継続Ｂ型
(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
ア 就労継続Ｂ型

５．基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基)土地	4,200,000			4,200,000
(基)建物	44,263,062		2,234,434	42,028,628
合　　計	48,463,062	0	2,234,434	46,228,628

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(基)土地	4,200,000		4,200,000
(基)建物	53,200,800	11,172,172	42,028,628
合　　計	57,400,800	11,172,172	46,228,628

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	5,054,433		5,054,433
合　　計	5,054,433	0	5,054,433

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

本部拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第四様式
（第二十七条第四項関係）

法　人　名　：社会福祉法人　啓和会　　（単位：円）

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	**51,232,923**	**50,745,358**	**487,565**	**流動負債**	**29,246**	**27,928**	**1,318**
現金預金	50,349,125	49,433,071	916,054	事業未払金	9,806	9,328	478
立替金	874,798	1,303,287	△428,489	職員預り金	19,440	18,600	840
前払金	9,000	9,000					
固定資産	**137,426,005**	**96,310,437**	**41,115,568**	**固定負債**			
基本財産	**9,000,001**	**9,184,433**	**△184,432**	**負債の部合計**	**29,246**	**27,928**	**1,318**
土地	6,000,000	6,000,000		純　資　産　の　部			
建物	1	184,433	△184,432	**基本金**	**3,000,000**	**3,000,000**	
定期預金	3,000,000	3,000,000		基本金	3,000,000	3,000,000	
その他の固定資産	**128,426,004**	**87,126,004**	**41,300,000**	**国庫補助金等特別積立金**			
車輌運搬具	1	1		**その他の積立金**	**113,926,000**	**66,626,000**	**47,300,000**
器具及び備品	3	3		人件費積立金	1,526,000	1,526,000	
権利	1,200,000	1,200,000		建設積立金	112,400,000	65,100,000	47,300,000
拠点区分間長期貸付金	10,800,000	16,800,000	△6,000,000	**次期繰越活動増減差額**	**71,703,682**	**77,401,867**	**△5,698,185**
人件費積立資産	1,526,000	1,526,000		（うち当期活動増減差額）	41,601,815	38,331,752	3,270,063
建設積立資産	112,400,000	65,100,000	47,300,000				
その他の固定資産	2,500,000	2,500,000					
				純資産の部合計	**188,629,682**	**147,027,867**	**41,601,815**
資産の部合計	**188,658,928**	**147,055,795**	**41,603,133**	**負債及び純資産の部合計**	**188,658,928**	**147,055,795**	**41,603,133**

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

計算書類に対する注記(本部拠点区分用)

別紙２

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
(2) 固定資産の減価償却の方法
・建物並びに器具及び備品－定額法
・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理によっている。

２．重要な会計方針の変更

該当なし

３．採用する退職給付制度

該当なし

４．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
(1)本部計算書類
（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）
(2)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
(3)拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))

５．基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基)土地	6,000,000			6,000,000
(基)建物	184,433		184,432	1
(基)定期預金	3,000,000			3,000,000
合　　計	9,184,433	0	184,432	9,000,001

６．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

７．担保に供している資産

該当なし

８．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(基)土地	6,000,000		6,000,000
(基)建物	2,012,036	2,012,035	1
車輌運搬具	787,522	787,521	1
器具及び備品	708,930	708,927	3
その他の固定資産	2,500,000		2,500,000
合　　計	12,008,488	3,508,483	8,500,005

９．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
立替金	874,798		874,798
合　　計	874,798	0	874,798

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

１１．重要な後発事象

該当なし

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし